様式３

令和３年度　学校評価書　（計画段階・実施段階）

学校番号 64

福岡県立　明善　高等学校（定時制）

自己評価

学　校　運　営　計　画　（４月）

学校運営方針	「克己・霊力・楽天」の校訓に基づき、「楽天」の域に達する生徒育成を全ての指導の基本とし、『確かな学力』、『豊かな人間性』を高める主体的な学びを通して、『高い志』を持つグローバルリーダーを育成する。		評価（総合）
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
令和２年度は、積極的に生徒の状況把握に努め、全職員で情報共有し、学習指導生徒指導に生かすことができた。その結果、落ち着いた雰囲気で学習活動や生徒会活動に取り組むことができた。また、基礎的・基本的な知識及び技能を取得させるために、生徒の興味・関心のある事項に視点を置いた指導や電子黒板を活用した授業展開も行うことができた。 令和３年度は感染対策を十分に行ったうえで教育活動を進めるとともに、言語活動を含め特別な配慮を必要とする生徒への個別指導及び手立てを充実させる必要がある。	「基礎的・基本的な知識及び技能」の確実な修得を目指し、きめ細やかな指導による学力の定着を図る。また習熟度別授業や個別指導をより一層工夫し、ICTを活用した授業を行うなど生徒の実態に即した授業改善に取り組み、個に応じた指導の充実を図ることにより出席率の向上と中途退学防止に努める。	○きめ細かな指導により生徒の基礎学力の充実に努め、確かな学力の定着を図る。 ○習熟度別指導や個別指導をより一層工夫し、学ぶ意欲と出席率の向上につなげる。 ○生徒の実態を把握し、授業改善に取り組み、中途退学防止に努める。 ○ICTを活用した授業を積極的に行い、わかる授業をの推進に努める。	◎
	キャリア教育を推進し、未来に向けて人生や社会を切り拓くことのできる能力と態度を育て望ましい勤労観、職業観を持った「志の育成」を図る。	○自立的な職業選択ができるよう、関係諸機関と連携し、情報を提供する。 ○キャリア教育を推進し、望ましい勤労観、職業観の育成を図る。 ○清掃活動やボランティア活動を通して望ましい勤労観や職業観を育成する。	
	道徳教育と人権教育を学校の教育活動全般を通して推進し、自他を認め合う共感的な人間関係や絆、人権意識の高い「豊かな人間性」を養うと共にいじめ撲滅に資する。また、規範意識やマナーの向上に努め、よりよい学校生活を送る環境と心身の健康を促進し、社会の一員としての自覚を促す。	○道徳教育と人権教育を全教科・全領域で推進し、充実を図る。 ○教科指導や学校行事及び部活動等すべての教育活動をとおして、配慮の精神等「豊かな人間性」を養い、自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができる生徒の育成に努める。 ○規範意識やマナーの向上に努め、生徒の健康を守り、校内環境の維持を図る。 ○総合的な学習の時間や総合的な探求の時間、HR活動を通して、いじめの撲滅に向けた指導を継続する。	
	生徒会や委員会活動の活性化を図り、自主的運営による学校行事の充実を図ることで学校への帰属意識を高める。	○生徒会や委員会活動の活性化を図り、自主的運営による学校行事の充実を図る。 ○教育相談や面談等、すべての教育活動の中で望ましい人間関係力を育て学校への帰属意識を高める。	
	社会から信頼される開かれた学校を目指し、教育活動の取組状況を地域に発信するため学校ホームページ内容の更新に努め新しい情報提示の充実を図る。	○学校通信「NIGHTSCHOOL楽天」の発行等、積極的に広報活動を行う。 ○学校ホームページ内容の更新を積極的に行い、新しい情報提示の充実を図る。 ○学校説明会を2回実施し教育活動を積極的に紹介する。	

項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）			次年度の主な課題
学校運営	学校運営方針具現化のために、主任主事を中心に組織的機能的に校務を遂行する。	各分掌の教育活動に対し指導・助言を適切に行い、振り返りを行うことで課題意識を高める。	◎	◎	◎	・電子黒板やタブレット端末を活用するため研修を行い、授業改善に取り組んだが機器にトラブルが起こった時に対応できない等の課題があった。次年度は研修の拡大を図りたい。
		全職員がICT等を活用した授業改善に取り組み、工夫や成果を共有できる機会を設ける。	○			
		職員間のコミュニケーションを密にし、諸課題に対し情報を共有しながら迅速で組織的な対応を図る。	◎			
	必要な情報を全職員で共有し、共通認識を持って毎日の教育活動に取り組む。	定期的な情報交換により、個々の生徒が抱える課題等について情報共有を図る。	◎	◎		・支援を要する生徒へ保護者連携のもと手立てを具体的に共有する。必要な際には、担任や就学支援員を中心に関係団体（担当医等の専門医や役所等の支援課）とも連携を図り個に応じた支援を引き続き行う。
		登校指導や校内巡視を行い、生徒の変化に対し迅速に対応できる組織つくりを行う。	○			
		学校の抱える課題に対し、職員研修を行い解決策を共有することで、全職員で問題解決に取り組む。	◎			
教科指導	学ぶ意欲の喚起と学力保障	個に応じたきめ細かな指導を行い基礎学力の向上に努める	◎	○	◎	・個に応じて工夫しながら授業が行われ、授業アンケートによると過半数以上の生徒が授業を「分かる」と答えている。しかし、教員一人一人の工夫に頼っており、教員間の差が大きい。これを共有することが課題である。
		「わかる授業」を基本とした、達成感を感じられる創意工夫を凝らした授業を展開する	○			
		ICTの効果的な活用を行い、より分かる授業を目指す	○			
	学校不適応の未然防止	担任と生徒・保護者との連携を密にし、信頼関係を確立する	◎	◎		・全職員での情報交換を密に行うことで、生徒一人一人の心に響く指導が可能となっている。ひいては、中途退学や問題行動の未然防止に寄与している。次年度は、指導方針まで共有できるようにしてさらなる効果的な指導ができるようにしたい。
		生徒の背景を全職員が共有し、個に応じた適切な指導を行う	◎			
		関係機関との連携を密に行い、中途退学・不登校を防止する	○			
生徒指導	問題行動の未然防止	生徒の変化への対応と生徒との信頼関係の樹立	○	○	○	・問題行動に対し、適切に対応し改善につなげることができた。引き続き、生徒の状況を把握し早期対応に努める。次年度は、個人面談を充実させて、生徒との信頼関係の確立に努めたい。
		計画的な交通安全指導の実施	○			
		いじめ防止の個人面談やアンケートの実施	○			
	学校行事の改善と生徒会の活性化	心豊かな学校行事の実施と命を大切にする教育	◎	○		・文化祭で文化的な取り組みとして感染対策を行いながら生け花を実施した。生徒に好評であった。次年度は、生徒会を中心とした学校行事を企画させたい。
		生徒会を主体にした学校行事の計画実施	○			
		学校行事の精選と重点化	○			
進路指導	自己肯定感の高揚と進路意識の向上	進路講演会を通じて生徒が社会性や自分の生き方を考える機会とする。	○	○	○	・コロナ禍で一部進路ガイダンスや職場開拓が困難であった。 次年度はHRの時間をより有効に活用して、学年に応じたキャリア教育を計画的に実施することが課題である。
		関係機関と連携して進路ガイダンスを行い、進路意識の高揚を図る。	○			
		就職・アルバイト先の開拓に努め、生徒の生活基盤づくりを支援する。	△			
	適切な進路選択ができる環境づくり	個人面談を通じて自己の課題を把握させ学校と仕事の両立を支援する。	○	○		・担任による個人面談を中心に進路指導・支援を行うことができた。進路に関する情報提供をより積極的に行うことが次年度への課題である。
		進路希望調査を通じて生徒の希望進路を把握し、適切な指導・助言を行う。	○			
		ハローワークの情報を随時紹介し、仕事の意義と責任を理解させ早期の取組を促す。	○			
保健 健康・安全	健康で自立した社会生活を送るための、健全な生活習慣の確立と心身の自己管理能力の育成	性に関する講演会、食育教室を実施し、基礎的・基本的な知識・情報の伝達に努める。	◎	◎	◎	・各種健康診断の受診の際に問診票の未提出者がいないように工夫する必要がある。 ・引き続き新型コロナウィルス感染拡大防止に努めなければならない。
		食事、睡眠、ストレスなどに対するきめ細やかな健康指導を行う。	○			
		健康診断の主体的受診の促進と未受診者への指導を徹底する。	◎			
	環境美化や保健・安全・衛生に関する意識の高揚と改善	保健委員の保健や給食に関する活動を促進し、委員会活動の活性化を図る。	△	◎		・「健康生活アンケート」によると、給食を「毎日食べる」が53人中31人と6割にも満たないので給食の喫食率を更に向上させたい。 ・保健委員会活動の活性化の工夫が必要である。
		給食委員会を毎月実施し、喫食率の改善に努める。	◎			
		保健委員研修会での発表内容の充実のその活用に努める。	◎			
庶務研修	研修を通して教職員の資質・能力を高め、生徒の指導・育成に生かす。	教育活動の課題を把握し、適切な職員研修を実施する。	◎	○	○	・豊かな人間性を養い、職員、生徒ともによりよい学校生活をおくる環境と心身の健康をめざした研修を実施する。
		職員の資質・能力向上のための研修を実施する。	○			
		校外研修で得た情報を職員間で共有し、還流して研修を深める。	△			
	よりよい学習活動を目指し、授業研究の充実を図り、授業改善に努める。	生徒の実態に応じた指導方法・内容について研修を行う。	△	△		・現生徒の実態、個の特性について情報を共有し、指導方法の研修を行い成果を検証し、きめ細かな指導の充実を図る。
		人権に関する研修を行い、職員自らの人権意識を高める。	△			
		各生徒の特性を共有し、個に応じたより良い指導方法を探る。	○			
学校事務	経営参加型の事務室業務の推進	生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。	○	○	○	・極力職員の希望に応えるよう予算執行を行ったが、予算の都合上実現できていないものもある。引き続き、学校経営目標が実現するように予算面で支援する。就学支援金・奨学給付金等の保護者案内について適切な時期にわかりやすい内容で文書を配布することができた。
		各分掌と情報の共有化を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う。	○			
		生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容で的確に情報発信する。	◎			

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

・すべての教育活動を実施するのため、感染対策を施しながら評価委員の意見を参考に工夫、改善を図る。
・生徒情報の共有に努め、生徒の基礎学力の定着のための授業改善、安全・安心して学校生活が送られる校内環境の維持を図る。
・リモート学習に関連する研修を実施し、休校になっても教育活動が継続できる体制作りを行う。

学校関係者評価

評価（総合）	自己評価は Ａ：適切である Ｂ：概ね適切である Ｃ：やや適切である Ｄ：不適切である
A	

項目ごとの評価	学校関係者評価委員会からの意見
A	・ＩＣＴ等の研修を行うことでより授業がかわることに期待できます。 ・生徒の年齢も幅広く、様々な仕事をしている生徒を支える先生方の努力が見られた。
A	・生徒に対して授業アンケートを実施されているのは素晴らしいことだと考えます。
A	・コロナ禍で感染対策をしながらの教育活動に感謝する。次年度は生徒会を中心とした特色ある教育活動を期待します。
A	・コロナ禍での進路指導はものすごく困難であると思いますが、生徒の適性を考えた進学・就職の指導を期待します。
A	・コロナ禍での教育活動における感染対策を引き続きお願いします。 ・給食により食べることの大切さや食生活の改善が高められると思う。
A	・様々な観点からの研修を行い、その内容が生徒に還元できることを期待します。
A	適切な処理を行っています。

評価項目以外のものに関する意見

特になし